



# 湯河原ロータリークラブ WEEKLY REPORT



2020年9月11日(金)  
例会 第2813回

天気：くもり  
合掌：それこそロータリー

会長 山本明峰  
幹事 佐藤友彦

事務所：神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内  
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716  
例会場：ニューウェルシティ湯河原 静岡県熱海市泉 107  
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401  
例会日：毎週金曜日 12:30～13:30

## 会長挨拶

少し時機を逸した感がありますが、今年のガバナー公式訪問の際に、どのようなことが話題とされたかを報告致します。真っ先に取り上げられたのが、ロータリー財団並びに米山奨学金基金への寄付金の徴収方法の変更についてであり、今年度から、普通会費と合わせての一括徴収を取りやめ、会員個人の任意の寄付としたことについて、これは「本来の趣旨に叶ったものです」とのご指摘でした。続いて多くの時間を割いて話し合われたのは、スマイルボックス特別会計についてだったように思います。最初に目標額について尋ねられたのですが、実はそれは二の次の問題であって、当該年度の会長が何をやりたいのか、それこそが問われるのだとのご指摘でした。つまりはこの寄付金の使途については、会長がある程度専権的に決められる、そういった性質のものであり、仮に何も取り組みたい事が無ければ、次年度当初の運転資金として応分の額の繰越金を残すことだけ留意すれば集める必要もないのだと。最後、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)をはじめ、青少年奉仕活動について、こちらから問いかけるかたちでの話し合いがあり、だいたい1時間強の懇談会となりました。

## 幹事報告

ガバナーより

1. 国際ロータリー第2780地区大会 2020-2021年度 地区大会登録のご案内

出席報告	ゲスト 2名 ビジター 0名	会員 25名
	欠席 4名(免除者 2名)	前回の修正出席率 100.00%
	出席率 90.91%	前々回の修正出席率 90.91%

事前メイクアップ 4名

ゲスト 湯河原町参事兼環境課課長 須藤裕明 様  
湯河原町環境課主事 鈴木泰平 様

様々な現状を考慮させて頂き、本年度は、会長・会長エレクト及び幹事にご案内を限定させて頂きます。

日時 2020年10月18日(日)

13:00～14:00 登録

14:00～ 点鐘

14:25～14:50 会長・幹事会

(四種委員会報告・大会決議採択)

(2019-20年度地区決算報告)

15:05～15:30 本会議

(地区現況報告・RI会長メッセージ 現況報告)

15:40～16:10

(新世代メッセージ紹介)

16:10～16:30

(各種表彰)

16:41～ 点鐘

場所 鎌倉芸術館

鎌倉市大船 6-1-2 TEL: 0467-48-5500

連絡事項 なし

## スマイルBOX

9/11～17

入会記念日 杉山茂久君 (32年・S63.9.2)  
青木義美君

ボートチームの今年の練習がコロナで今まで出来ず先週やっと宮ヶ瀬湖で初練習でした。くそ暑いコンディションの中フェイスガードをつけなければならずいきなり熱中症で練習後1時間寝かされました。

高知尾朝行君・伊藤伸之君・杉山茂久君・佐東丈介君・高杉尚男君・神谷一博君・石川博君・室伏学君・佐藤友彦君・丸塚順子君・安江仁孝君

8月1日は五所神社の例大祭でした。

## 湯河原町の環境について

1. 令和元年度のごみの回収状況：(1) 通常回収ゴミの合計は13,081tで、前年比37tの減少でした。このうちいわゆる「資源ごみ」は全体の9.6%にあたるが、ペットボトルの約半分がリサイクルされていません。(2) 拠点回収資源ごみについて、①古着・布類は1,750kg(前年比385kg減少)、②ペットボトルキャップは2,465kg(前年比1,267kg減少)、③天ぷら油は1,081リットル(前年比103リットル減少)でした。古着・布類は海外で再利用され、ペットボトルキャップはプリンターやハンガーなどのプラスチック製品に生まれ変わるとともに、ポリオワクチンとして海外の子どもたちの感染予防に役立っております。天ぷら油は養鶏のエサの添加剤、バイオディーゼルの燃料として再利用されております。(3) 資源回収団体による資源ごみ回収量は約34tでした。
2. 一般廃棄物処理費用：令和元年度の処理費用は約8億5千万円で、ここには収集運搬費、中間処理費、最終処分費、し尿処理費を含んでいます。なお令和元年度湯河原町一般会計歳出決算額は約99億円でした。
3. ごみ収集業務の民間委託：令和2年7月より、ごみ収集業務が民間へ全面委託されました。
4. 不法投棄：令和元年度には年間約1.7tの不法投棄が確認されました。
5. し尿処理：真鶴町の港近くの地下に貯留されている浄化槽汚泥及びし尿は、1日20tのペースで熱海市の処理施設へ搬入されています。令和元年度は年間約4,200キロリットルの搬入実績でした。令和2年4月より、熱海市内のエコプラント姫の沢にて前処理後、熱海市下水道処理施設へ投入しています。
6. 最終処分場：令和元年度から、焼却灰は新たな最終処分場で埋め立てを行っています。
7. 火葬件数(真鶴聖苑)：令和元年度は589体(湯河原町：383体、真鶴町：131体、その他：75体)の火葬件数でした。
8. 指定ごみ袋の導入：平成28年度からごみ出しマナー等向上を目指し、可燃ごみの指定袋制を導入しています。
9. レジ袋の有料化：令和2年7月1日より、全国でプラスチック製買い物袋が有料となりました。有料化を行うことでレジ袋の過度な利用を抑制することが目的です。町民の皆さまには、買い物時にエコバッグ等を活用していただき、レジ袋の削減に努めていただきたいと思います。
10. 生ごみ処理容器設置費助成金：自宅等から排出される生ごみを処理できる容器について、平成5年度から助成を開始しています。令和元年度までの累計実績は、処理容器(購入費の2分の1、4,000円を上限として助成)は299基、電動式処理容器(購入費の2分の1、20,000円を上限として助成)は77基、合計376基となっています。
11. 「木製ごみ箱」の設置：街中に散乱するポイ捨てごみを積極的に拾っていただくため、平成15年度に湯河原町の森林保護育成のために除間伐した木材を利用したごみ箱を製作しました。現在も、町内の公共施設や主要道路沿い等、40箇所に設置しています。
12. 古着(春物・夏物)、天ぷら油の拠点回収：平成28年度より、毎月第4木曜日の8:30~11:30の間、以下に示す回収場所にて古着、天ぷら油を回収しています。

回収場所は「役場第1庁舎入口」「ぶらりお休み処」「奥湯河原分署」「福浦第9分団詰所」「森下公園上倉庫」「子育て支援センター」「社会福祉協議会」「千暮公園」「美化センター」「商工会館」「ヘルシープラザ」「各地域会館(宮上、宮下、城堀、門川、鍛冶屋、旧中央、文化福祉、川堀、福浦)」です。

13. ペットボトルキャップの回収(第2・第4木曜日)：平成28年度よりペットボトルキャップの回収を開始しています。令和元年度までの累計実績は、数量：8,224kg、個数：3,655,946個です。これをポリオワクチン(キャップ860個で1人分)に換算すると4,112人分となります。

14. 使用済小型家電回収ボックス：平成28年度より、役場第1庁舎玄関の中に小型家電回収ボックスを設置しています。ボックスは役場開庁時間(8:30~17:15)内に利用できますので、いらなくなった小型家電をぜひお持ち込みください。なお投入できる小型家電(例：携帯電話、スマートフォン、ノートパソコン、携帯オーディオプレーヤー、デジタルカメラなど)の大きさは「30cm×15cm」以下となります。

15. 猫不妊及び去勢手術費助成金：平成29年度より、猫の不妊・去勢手術費用の助成(手術費の2分の1、オスの去勢：上限2,000円、メスの避妊：上限3,000円)を行っています。令和元年度の実績はオス：28匹、メス：38匹の合計66匹となっています。

16. さくらねこの無料不妊・去勢手術：「さくらねこ」とは、不妊手術済みのしるしとして、耳先をさくらの花びらの形にカットしたねこのことを指し、殺処分ゼロを目指して活動する(公財)どうぶつ基金が実施する事業です。野良猫の増加による各種被害を少なくするため、町では平成31年4月より、ボランティアさんと協力し、動物と人が幸せに共生できる社会づくりを目指しています。令和2年9月1日現在、73匹の不妊・去勢手術を行いました。

17. 犬の登録・狂犬病予防注射：令和2年9月1日現在、犬の登録頭数は1,438頭です。毎年4月中旬頃には、狂犬病予防集合注射を実施しています。

